

こころとからだに、  
おいしいものを。



2020年11月26日

各 位

会 社 名 ダイドグループホールディングス株式会社  
代表者の役職氏名 代表取締役社長 高松 富也  
(コード番号：2590 東証第1部)  
問い合わせ先 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長  
長谷川 直和  
電 話 番 号 06-7166-0077

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえて、2021年1月期（2020年1月21日～2021年1月20日）の通期業績予想について、下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

#### 1. 2021年1月期 通期連結業績予想数値の修正（2020年1月21日～2021年1月20日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想（A） (2020年8月27日公表)	百万円 158,000	百万円 1,800	百万円 1,700	百万円 500	円 銭 30.91
今回修正予想（B）	156,000	4,300	4,200	2,500	157.07
増減額（B-A）	△ 2,000	2,500	2,500	2,000	
増減率（%）	△ 1.3	138.9	147.1	400.0	
（参考）前期連結実績 (2020年1月期)	168,256	2,893	2,857	1,778	108.00

#### 2. 修正の理由

当社は、2020年8月27日の第2四半期決算発表時に、消費者の需要動向は緩やかに回復に向かうものの、新型コロナウイルス感染拡大による売上面への影響は、一定程度続くことを見込んだ上で通期業績予想を公表いたしました。第3四半期決算時点の連結営業利益、連結経常利益及び親会社に帰属する四半期純利益が、通期業績予想の数値を上回る進捗となっております。

セグメント別では、国内飲料事業のセグメント利益が想定を大きく上回る進捗となっておりますが、その主な要因は、第3四半期のコーヒー飲料の販売が「鬼滅の刃」とのコラボ効果により大きく伸張し、自販機チャネルの売上高も回復基調となり、原材料価格の低減効果も相俟って、

売上総利益率が想定以上に改善していることや、諸経費のコストコントロールが利益面に貢献していることによるものです。

このような状況を鑑み、通期の連結業績は、前回公表した予想数値を上回る利益水準となる見通しであることから、2021年1月期の通期業績予想を修正することといたしました。

なお、2020年3月4日に公表した配当予想については、安定配当維持継続の方針により、変更はありません。

(注) 業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報および合理的と判断する前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上